

俱知安町景観計画・緑の基本計画検討会議

第5回 市街地景観検討部会 議事概要

◎日時	令和3年6月4日（金） 午後2時00分～午後4時30分
◎場所	中小企業センター ホール
◎出席者	部 会：辻井部会長、峠ヶ委員、佐藤委員、吉田委員、金塚委員、本田委員、 齋藤委員、宮武委員 傍聴者：3名 事務局：まちづくり新幹線課 桜井景観室長、星加係長、横山主事、 傳法建築指導係長、植田新幹線係長、西口まちづくり係長 コンサルタント会社：(株)KITABA 百瀬、松浦

1. 開会

○座長より挨拶

(辻井部会長)

- ・昨年度は多方面からいろいろな意見をいただき、大変感謝している。
- ・駅前のデザインについてはいろいろ意見があると思うが、上手にすり合わせながら議論をしていきたい。

2. 令和2年度の振り返り

○事務局説明

3. まち歩き（※雨天のため、映像上映）

○国道5号

【屋外広告物】

- ・国道5号は大きめの看板が多い。

【緑化】

- ・植樹柵にはイタヤカエデが植えてあるが、街路樹としての連続性が見られない。
- ・駅前通りの入り口にあたる店舗は植栽をすると通りの入り口としてわかりやすくなる。
- ・南側には植樹柵があるが、町内会単位で割りあて、花植えを行っている。

○駅前通り

【街路樹】

- ・駅前通りは街路樹の配置が等間隔ではない。昔の店舗の間口に街路樹が来るように設計されていた。

【ベンチとフラワーポット】

- ・歩道に佇めるような椅子が置いてあるのは良い。
- ・商店連合会で歩道上にフラワーポットとベンチを設置している（今年はコロナの関係でベンチは設置しない）。
- ・店舗の出入り口部分の外にソファが置いてあって座れるようになっている店舗がある。

【袖看板】

- ・袖看板を設置している店舗が意外と少ない。
- ・特に新しい建物には袖看板を付けていないように思う。
- ・老朽化のため、外した店舗が多いのと、道路占用に関わってくるためではないか。
- ・過去に大きい台風で看板が取れたことがあり、それ以降付け直していないお店もあったと聞いている。
- ・突き出し看板は雪が落ちてくるという問題があるので管理が大変である。
- ・宮武委員のお店の小さい袖看板は印象的である。

【建物のファサード、低層部の意匠】

- ・リノベーションされた店舗は木をベースに外観を装飾しているところが多い。
- ・低層部分は自然素材を使用されている場合が多いように思う。
- ・通りに面する1階部分に手が入っていて、さらに連続して良い感じがする。間口が小割で楽しい感じがする。
- ・既存の建物でも、柱の位置は変えずに建物の入り口部分をセットバックすることで、ベンチを置いたり自由度を高めているところが多い。
- ・1階部分がガラス張りのお店は楽しそうな印象になる。
- ・駅前通りに入口が面していないお店は寂しい印象である。駅前側は全て壁でなく、中の商品や様子が少し見えていると、にぎやかな雰囲気になると考えられる。

【駅前広場】

- ・交通広場のタイムカプセルや水場は撤去しなければならないのか。
- ・交通広場の水がきれいなので、なくなるのは寂しい。
- ・既存の彫刻やアートは新しい広場に移設してはどうか。

【街路灯】

- ・6メートルくらいの高さに設置されている。
- ・明るさは支障ない。
- ・街灯も街路樹と同様に以前の商店の間口に合わせて設置されているため、等間隔に設置されていない。

【建物のセットバックされた空間】

- ・最近建てられた店舗は、建築指導要綱に則ってセットバックや駐車場が設けられている。
- ・峠ヶ委員のお店はセットバックされている。また、建物の舗装はウッドチップを敷き詰め

てあり、柔らかい雰囲気が良い。

- ・アスファルトではなく、ウッドチップなど自然素材を使うと見た目が良い。
- ・店舗前でセットバックした空間があり、駐車できないようにアスファルトに黄色で色を塗っているが、その空間をちょっとした広場みたいな形として使うことによって、駐車できないようにするといいいのではないか。
- ・夏場はテントなどを出して何かイベントをしていたこともある。
- ・お店の前に車止めがあり以前は車を止めらていたと思うが、現在は駐車禁止の看板が立っている。スペースとしての活用が見られないのももったいなく感じる。

4. 意見交換 『魅力あるまちにつながる景観づくりについて』

(辻井部会長)

- ・これからルールを検討するにあたっては、民地側と道路部分を分けて考えることになるかと考えている。
- ・袖看板や工作物、照明の話などが出た。駅前広場は夜間の照明に係る演出計画もされると考えている。
- ・どこからでも良いので、ご意見をいただきたい。

○空き地・空き店舗の活用

(金塚委員)

- ・映像を見て空き地が多い点が気になった。空き地にすぐ建物が建ったりはしないので、どうにかして有効活用ができないかと考えている。
- ・フードトラックやコンテナの設置などはスペースを埋めやすく、賑わいを創出できる。
- ・コロナ禍で山の方で飲食店をしている町内外の人の経営が厳しいと聞いているため、例えば町でフードトラックを用意し、場所を提供してあげられると良いのではないか。

(辻井部会長)

- ・駐車場や空地の修景については、コンテナなどの賑わいの装置を置いてつなげていくこともいいアイデアである。
- ・冬場の管理の問題があるが、道路側に植栽を置くことも修景になる。
- ・樽状のポットでの植栽は比較的管理がしやすく清里町などで実践されている。
- ・峠ヶ委員のお店の前にはキッチンカーがきているのを見かけるが、町内にフードトラックで出店したい人はいるのか。

(金塚委員)

- ・私自身がやりたいと思っている。フードトラックは見ていてワクワクする。

(辻井部会長)

- ・自分の事務所では、木造戸建ての1階に花屋が入っていて、その前におにぎり屋さんやスープカレーなどキッチンカーに実験的に来てもらっている。駐車場を使用しているため、基本的には歩いてきてくださいというコンセプトで実施している。

- ・今まで商店連合会でそのような取組をした経過はあるか。大掛かりでない形でフードトラックを3～4台でやってみてはどうか。

(本田委員)

- ・まちなか広場の実証実験で大通まちづくり会社からコンテナを借りて、4店舗程度のチャレンジショップをやっていた。ターゲットは子育て世代とし、お客さんは結構来ていた。
- ・フードトラックではなくて、コンテナを置くような形で行っていた。
- ・キッチンカーで唐揚げ屋さんが常設で販売している。
- ・フードトラックが3～4台集まると相乗効果で人が集まりそうである。
- ・夜の飲食店で昼間使っていない店舗をシェアする動きがみられており、今後ニーズはあるのではないか。

(辻井部会長)

- ・空き店舗の利用には調整が必要だが、どこかできそうなところはあるか。

(金塚委員)

- ・せっかく日中空いているのだから、お店のオーナーは協力してくれると良い。
- ・冬は忙しいため難しいと思われるが、夏であればみんなで何かができると思う。

(辻井部会長)

- ・空き地を駐車場にした方が売り上げ面では良いかもしれないが、賑わい創出の面ではキッチンカーなどが良いと思っている。
- ・自分の会社で実験的にやっている取組では、出店料を少しいただいている。
- ・積極的に空き店舗や空きスペースを使うことは起業のチャンスになる。

(斎藤委員)

- ・町の中でフードトラックが何店舗かバラバラに出店しているのを見かける。
- ・それぞれにお客さんがたくさん入っているわけではない。その中の唐揚げ屋さんは苦勞して運営していると聞いている。
- ・フードトラックや店舗が何店舗かまとまってあると集まるお客さんの数が増えそうである。一店舗だけでは弱いと思う。

(辻井部会長)

- ・フードトラックのはしごができて、ちょっと座って休めるようなところがあると良い。
- ・テイクアウトができると、このコロナの時期では人気が出そうである。
- ・駅前通りに空地はあるか。ほとんど駐車場のようだが、駐車場、立体駐車場のところで、暫定利用で駐車場にしている人が多いのではないか。

○建築物（色彩、配置）

【色彩】

(本田委員)

- ・外壁の色は大切だと思った。意匠や形が違ってても、色がまとまると街並みが美しく見えると思った。

【配置】

(本田委員)

- ・新築はセットバックを条件にしているが、既存建物の改修の時に入り口をセットバックをするだけで雰囲気が変わると思われる。
- ・改築時の色と入り口部分のセットバックの条件をつけたら良いかもしれない。

(佐藤委員)

- ・新築のセットバックがそれぞれの建物でバラバラである。セットバックの線の統一感は必要なのかと思った。

(辻井部会長)

- ・セットバックの空間をどう使うかによるため、多少のデコボコは良いと思っている。
- ・問題は駅前通りの賑わいを分断しないことである。間口を駅前通りに向けなくても、ショーウィンドウなど建物の見る・見られるという応答するような関係でつながると良い。
- ・過去に上川町の再開発で歩行者専用道路に面する半分以上の間口を通りに向けてようにした。通り側に壁面や事務所、トイレだけになると、通りの賑わいが途切れてしまうため、セットバックして緑を設置してもらうようにした。
- ・駅前通りの賑わいをみんなで作っていくというような方向性を示すことは良いと思った。デザインというよりも使われ方として。

(本田委員)

- ・駅前通りに間口を向けていない店に以前相談したが、「取り扱う商品のレイアウト上、間口を開けない」といわれた。

(辻井部会長)

- ・今となってはレイアウトを変えることはできないので、せめて壁面にフラワーポットなどを駅前通りの商店と一緒に行わないか呼びかけることは取組として考えられる。

○歩道・舗装（バリアフリー化）

(本田委員)

- ・歩道の舗装の色は白っぽいのが、通りごとに色を変えるなどすると楽しいかもしれない。

(辻井部会長)

- ・現在の歩道はブロック板なので割れやすいのかな、と思うが、バリアフリー上問題になることはないか。

(本田委員)

- ・平らではないため問題になっている。ガタガタになっている部分があり、スーツケースを引く際にガラガラ音がする。

(辻井部会長)

- ・現在の駅前通りのバリアフリーの勾配は1%以上あるように見える。
- ・駅前広場は整備に合わせ、バリアフリー化として勾配1%未満でしっかりやると思われる。
- ・駅前通りのバリアフリー工事はまだ先になるか。

(本田委員)

- ・無電柱化の際に道路の改修することも考えられる。

(辻井部会長)

- ・快適な空間にするためにバリアフリー化は考えたい。そのためにはバリアフリー動線のネットワークの整理が必要になる。

○屋外広告物

【色彩・ボリューム】

(佐藤委員)

- ・敷地内に駐車禁止用のカラーのサインをするのではなく、景観的に配慮がされている色になると良い。

(辻井部会長)

- ・蛍光色などのけばけばしい色は控えるという規制はある。面積が大きいところについては、控えるようにしてもらおうというやり方がある。
- ・袖看板は雪処理など安全上の問題もあるため少ないと言っていたが、美瑛町は小さい突き出し看板を利用しており、良い景観を作り出している。
- ・宮武委員のお店の袖看板は店構えとマッチしていて良い。通り全体で袖看板のボリューム感を統一するという手法もある。持ち味になるため高さは多少バラバラでも良い。
- ・昔はビルが建ってから看板を付けることが多かったが、建物を新設する場合は屋上の設備系も一体的にデザインしてもらおうようにすると良い。

(辻井部会長)

- ・お店の看板のサイズやしつらえはある程度一定にした方が良いか、どうお考えか。自由度を束縛しない方が良いか。

(吉田委員)

- ・ニセコ町の無電柱化されている区間（綺羅街道）は統一感があり看板は小さくて落ち着いている。

(辻井部会長)

- ・木のフレームを使うなどのルールを設けても良いかもしれない。
- ・道路拡幅の際に建物と看板と一緒に更新のタイミングとなったため具体的に検討が進められた。今は木の色が落ち着いている。

【商業用広告】

(斎藤委員)

- ・現在は他者の看板を設置すること（貸し広告・商業用広告）を規制しているのか。現在は需要がないだけか。

(星加係長)

- ・規制していない。

(辻井部会長)

- ・駅前が開発が進めば商業用広告物設置の要望が高まると思われる。

(星加係長)

- ・新幹線が開業すると屋上設置の要望が増えそうである。

(辻井部会長)

- ・景観ガイドラインに屋上広告物の規制の項目を入れておくことが現実的かと思う。
- ・ただ、ビルなど建物については一体的なデザインとしましょう、というのはあっても良いと思う。

(齋藤委員)

- ・今後、外資が駅前通り入ってくると広告で稼ごうとすることが考えられる。

【のぼり旗】

(佐藤委員)

- ・のぼり旗の設置は規制しないのか。

(辻井部会長)

- ・のぼり旗は可動物なので規制が難しいと考えられるが、上手にデザインすれば「にぎわいづくり」の要素になる。
- ・お店や街並みのがのぼり旗で見えなくなってしまうのはどうなのかというケースはある。

(桜井室長)

- ・のぼりは北海道の屋上広告物の条例で自分の敷地に1日単位で掲出するものになっている。
- ・固定の看板は3年に1度の許可更新を受けているが、のぼりは簡易広告物として1日あたりいくらかという手数料を払う制度になっているが、実例はほとんどない。

(辻井部会長)

- ・駅前通りよりも国道の方がのぼり旗は多いかもしれない。

(本田委員)

- ・ひらふ地区では規制してはどうかという議論をした際、外国人からは「あるべきだ」という意見が多かった。今ののぼりはおしゃれなものもあるため形状のルール作りをしてはどうか。

(辻井部会長)

- ・街路灯などに共架するバナーなどは上手にデザインすれば景観的に悪くない。

○緑化（花植え・街路樹）

【花植え】

(齋藤委員)

- ・駅前通りの街路樹は一か所も花が咲いていなかった。
- ・ひらふ坂のエリアマネジメントではプランターボックスを置いており、チューリップなどが自然と咲いていて美しい。
- ・街路樹の足元に花が咲いているとハッとするが、建物の敷地に花植えをしようとするとき間がかかってしまうと思う。まずはできることとして、植樹樹の草刈りをするだけで駅前通りの印象は変わるのではないか。花が咲いているだけで印象が変わる。

(辻井部会長)

- ・駅前通りのお店で花植えなどが好きな人はいるか。

(吉田委員)

- ・植栽を各店舗や個人に全てお願いするのは、お金がかかることであるためなかなか難しいと思われる。
- ・自分の会社の壁面の植栽は初期投資に18万円くらいかかっている。また、今年は花に6万円程かかっている。自分は植物が好きなので取り組んでいるが、個人にお願いするのは難しいかもしれない。

(辻井部会長)

- ・植栽が少しずつでも増えていけば、周りに波及して広がっていくこともある。

(吉田委員)

- ・緑化を頼むにしても金銭的な面を手当てしないと進まないのではないか。

(宮武委員)

- ・今年はベンチを設置しないが、駅前通りにフラワーポットを60基置く。
- ・手入れしてくれそうな方の建物前に設置する予定である。
- ・駅前通りの街路樹は雑草がすごい。北海道で雑草が生えないように鉄の格子を設置しており、味気のない街路樹になっている。

(辻井部会長)

- ・現在、メルヘン通りにはマリーゴールドが植えてある。花いっぱい運動などが関わっているのか。

(宮武委員)

- ・町内会の方が毎年頑張って植栽している。駅前通りの花も一括してやってもらっている。植える花の種類をまとめてくれている。
- ・植樹樹の管理は軒先の人が行っている。

(斎藤委員)

- ・町内会や個人が取り組むには限界があるため、理想論で終わってしまう可能性が高い。エリアマネジメントの団体などが行うと良い。

(辻井部会長)

- ・恵庭市の恵み野地区では花植えが好きでフラワーマスターがいる。商店街の自分の店前は“演出”として自分たちで植栽は行っている。整備費は3割負担くらいでできる。残りは補助事業で行っている。花の入れ替えはシルバー人材センターの人にスタッフとしてしてもらいキープしている。
- ・飛び石などを置いて植栽の面積のコントロールもしている。面積は多くないけど見た目は保つことができている。
- ・素敵な植栽をしているところがあると取組が広がると考えている。
- ・間口の広いお店に対し、花植えに参加してもらえると駅前通りの印象がだいぶ変わってくるのではないか。
- ・はじめて取り組む際は初期投資がかかるため、役場の協力が必要になりそうではある。
- ・雑草はおもてなしの空間にしては寂しい。向かいの人が手入れすると、自分の花壇が気に

なってくる。

- ・雑草はこまめに取らなければいけないが、1年草を秋口に撤去するのではなく、根や球根が残るような放っておけば毎年出てくる宿根草の植物を植えたりすると管理が楽である。
- ・花の種類もお店ごとに違うものを植えても個性が出て良いと思う。
- ・そのような小さな運動がたくさん行われると良い。

(桜井室長)

- ・明日(6月5日)、花いっぱい運動として、花の苗を各町内会に配布する予定となっている。

(佐藤委員)

- ・明日明後日で各町内会が一斉に花植えをする予定となっている。

(吉田委員)

- ・三島さんの芝桜が有名になってきており、街路樹に芝桜が植えられないかと思っていた。緑化に力を入れていきたい。

【街路樹】

(宮武委員)

- ・駅前通りは街路樹が無駄に高くなり、街灯が隠れてしまっているところがある。
- ・無電柱化を機に、きれいに見える、手のかからない樹種の入替えも考えてほしい。
- ・街路樹の枝が伸びて電線に触れて危険である。
- ・冬場にイルミネーションを設置しやすい木になってほしい。

(辻井部会長)

- ・現在の街路樹は横に伸びてしまう樹種であるため、植え替えるのであれば中木くらいの木が良いかもしれない。

○工作物(自動販売機・擁壁・道路付帯物)

【自動販売機】

(辻井部会長)

- ・工作物について、自動販売機はあまり見かけないが、置くことが分かっていたら落ち着いた色彩にするなどの項目を計画の中に書き加えても良いのではないかと。

(星加係長)

- ・駅に面する左右の軸に自動販売機が設置されており、駅前広場からは距離が離れているためあまり目立たないかもしれないが、メインの軸にあるそのような工作物に対して規制をかけることは考えられる。

(辻井部会長)

- ・自動販売機の色を変えると、この方がすっきりするが営業している人にとっては自動販売機が目立たないと困るという指摘があるためなかなか難しいが、街並みを大事にしようというのは共通点として持っておいた方が良い。

【擁壁】

(佐藤委員)

- ・花壇やプランターなどの移動できるものであれば良いが、駅前通りに擁壁は作って欲しくない。
- ・今後擁壁を作るようなプランが出てくる可能性もあるので、賑わいを遮るような擁壁や低くても塀は作ってほしくない。

(辻井部会長)

- ・柵がほしい場合は、すかしができるような木柵にするなど、高さが1メートル以下で目線が通るようにして、少し後ろに下がって手前を緑化するなど、しつらえの仕方を工夫すると良い。
- ・駅前通りの賑わいを分断するような擁壁は遠慮してもらおうというルールは良いかもしれない。
- ・俱知安町で除雪の面で道路側に塀をたてている家はあるか。あまり見かけないような気がする。

【道路付帯物】

(宮武委員)

- ・歩道との境界に車止めがあった除雪関係で全て抜いてしまった。
- ・道路付帯物は雪の関係で設置が少ないため、すっきりした印象を受ける。

(辻井部会長)

- ・キュービクルにもポールが立っている。
- ・雪に埋もれてしまって引っかけてしまったり、邪魔になってしまうということか。
- ・道路付帯物は雪の関係で少なくなっているためか、すっきり見える。

(星加係長)

- ・無電柱化を進めるうえで、キュービクルの設置の位置の検討も検討課題になる。流雪溝への投雪への影響、店の入口への影響など。

(辻井部会長)

- ・キュービクルもただ置くだけではなく、片側にサインをつけたり、高い木ではなくツツジなどの低木を植栽してできるだけ風景に馴染ませると良い。雪に耐えられるものを植えれば雰囲気がかわってくると思う。
- ・道路上のものと宅地側民間のサインはどういう仕分けになるのか。公共施設の管理者や北海道など、サインの設置主体が異なるのでサインの意匠調整をしてはどうか。
- ・案内サインは民間で設置する場合もあると思うが道路付帯物に含めても良いかもしれない。
- ・道路付帯物は色の指定まではいかなくても、自己主張をしないくらいに留める程度で良いか。

○照明

(辻井部会長)

- ・駅前広場では、これから機能配置の議論が進むと思うが、夜間照明、夜景づくりの検討が今後行われることはあるか。

(植田新幹線係長)

- ・夜間景観の検討はこれからとなる。駅前の顔づくりの性質もある。
- ・24時間送迎バスなどが出る可能性もあるので、安全性も含めて照明についても検討する。

(辻井部会長)

- ・事業者は複数で照明の設置に取り組むときは照明の色味について光源色温度などの調整をすることがある。オレンジ色で温かみを出すか、午前中のような白い光など、そのあたりの使い分けは出てくると考えられる。
- ・照明は設置主体が異なるため、デザインがバラバラになりがちであるため、方向性として光源や配置、高さなども含めて調整を行う旨の話を早めに出しておくが良い。
- ・駅前通りの街路灯の高さは現在の6メートルで丁度良い感じがした。これ以上低くなると設置間隔が短くなるので、見た目にはうるさくなってくる。
- ・照明について整理したい目的は何か。

(KTIABA)

- ・点滅表示の照明や色など、周辺の雰囲気との調和の観点から制限の必要性などを整理したいと考えていた。

○建物の高さの制限の必要性

(辻井部会長)

- ・事務局から、特に議論してほしい要素はあるか。

(星加係長)

- ・建物の高さについて、制限を設ける必要があるか、その場合の上限をどこまでするか、と言ったことについてご意見があればと思う。

(辻井部会長)

- ・事務局からの件でも良いし、それ以外でも構わないので、ご意見があれば。
- ・駅前通りは、暮らしがあつての街並みだと思っているので、そういった観点でも構わない。

○にぎわいづくり（助成・補助、賑わい創出の工夫）

【助成・補助】

(峠々委員)

- ・空き地や空き店舗をどう活用するか景観の観点から考えた方が良い。
- ・空き地・空き店舗を景観が損なわれないような形、仕組みや方法を考えられたら良い。
- ・以前チャレンジショップを行ったときに、継続してお店を出す人がなかなか集まらなかったため、お店を呼び込むというのは難しい部分がある。

- ・駐車場など空いた空間で子どもが遊べたり、除雪の際の堆雪場にしたり、花壇を置いたり、空き地や空き店舗の活用が現在の課題だと思っている。

(辻井部会長)

- ・シャッターに絵を描く取組があるが、シャッターを下ろしていると商店街的にはマイナスになる。
- ・チャレンジショップやシェアキッチン、現在あるものを使って何かに取り組む動きが出てきている。シャッターに絵を描く取組も見られる地域もあるが、それは違うと思っており、建物を使うことが大事だと思う。
- ・空き家対策のうち、空き店舗対策の事業は町で進められるのか。

(星加係長)

- ・現在は家賃助成程度である。

(辻井部会長)

- ・空き店舗や空き地の貸借の敷居が低いのもがあると、選択ができるとおもしろいと思う。

(吉田委員)

- ・空き店舗の問題は条例制定などで何とか解決できないか。

(辻井部会長)

- ・商店街などやってみたいというニーズを実現するために行政に何ができるのかを考えるため、条例が先にできるものではない。まずはニーズを掴むことが先だと思う。

(西口まちづくり係長)

- ・町の空き店舗対策の補助は、商店連合会に加入し、1年以上継続して事業を行った場合に対して、家賃1年分の1/3程度を助成する制度のため、事業立ち上げの自己資金は別途本人で調達する必要があるという課題はある。

(辻井部会長)

- ・その部分で敷居が高いと感じる方もおられるかもしれない。

(峠々委員)

- ・駅前通りから入る横の道路は店舗への助成金の対象にならない。空き店舗には助成が出るが、新築やキッチンカーの場合も助成金の対象にならない。
- ・空き店舗を改装してお店をやる人だけが対象となっているが、駅前通りの建物は結構古いため、そこで何かはじめるには敷居が高いかもしれない。

(辻井部会長)

- ・このような空き店舗対策は、民間側からの仕掛けづくりが中心となるが、現状としては難しいかもしれない。
- ・キッチンカーなどは商店街の駐車場の「にぎわいづくり」のために、ルールの支援をしてもらうことはあり得る。

(佐藤委員)

- ・駅前通りを拠点に景観を向上させていき、市街地全体へ波及できると良い。
- ・駅前通りと5号線の事業者は外観にあまりお金を使えないのが現状である。
- ・景観維持の補助金などがあれば取組やすいのではないかと。既存の店舗などが取組やすくなれば、その後新築が建っても外観をきれいに保つようになるのではないかと。

- ・景観維持の補助が町の活性化につながりそうである。

(辻井部会長)

- ・事務局でも検討してほしい。

(吉田委員)

- ・自分自身が、緑化や植栽に興味がある。姉妹都市のサンモリッツへ視察に行った時に、建物の壁に植物をハンギングしていたのが印象的で、自分の町にもその景観を広めていきたいと思い取り組んでいる。
- ・景観づくりは先立つものがあまりないため、マネジメントの観点から財源を捻出していたかかないと難しいと感じた。

(辻井部会長)

- ・市街地のテーマに「潤い」があるので、緑化は大事な要素である。
- ・計画ができた後に実践できるものが浮かび上がるように進められたら良いと思った。

【創出の工夫】

<空き地活用のルール>

(峠ヶ委員)

- ・空き地、空き店舗が出てきた段階で、景観づくりとして、雑草が繁茂しないようにするなど最低限のルールを定めるべきだと思う。
- ・その辺について良い事例があれば整理していただきたい。

(金塚委員)

- ・空き地を写真撮影スポットにして、顔はめパネルなど羊蹄山が見える空き地に「にぎわいづくり」の装置として、設置も考えられる。

(辻井部会長)

- ・空き地ができることで、羊蹄山を望むことができる場所が出てきている。

(辻井部会長)

- ・駅前広場では羊蹄山を背景にした撮影スポットはできそうな気がする。
- ・商店街でそのような取組があると楽しいと思う。
- ・ぜひ空き地を使い倒しましょう。

(峠ヶ委員)

- ・空き地や空き店舗をどうポジティブなものにしていくかが課題である。これから建物ができるのであれば条例で定めると良い。写真スポット、新しいお店など、ができればよい。
- ・空き店舗などの雑草の管理などが気になる。ルールの中で、雑草は放置しないなど空き店舗とした時の最低限のルールを決めておくと良い。

(辻井部会長)

- ・ルールの中では、いつもの風景として整備するものと賑わいとして街並みづくりに参加する面と、両面にふれておいた方が良い。

<四季ごとのおもてなしの表現>

(金塚委員)

- ・駅前通りに四季を感じるものがあると良い。街路灯などの柱に茶色い細い筒に小さい鯉のぼりを設置している町があった。日本らしさなど表せると思う。
- ・行事ごとのアイテムを飾ったり、交通安全の黄色い旗を季節ごとに違う色のものを設置するなど、方法はいろいろ考えられる。
- ・四季を表すことで生きている駅前通りという感覚が持てると思うため、四季を感じられるアイテムがあったら良い。
- ・道路上の施設に設置できると統一感を演出できるが、それが難しければ、例えば季節の旗を役場から提供してもらって、小さい花瓶に刺して飾ってもらうなど、そのお店ごとに飾り方にも特徴が出せると思う。

(辻井部会長)

- ・景観のルールには馴染まないが、景観計画の要素として、商店街の一体的なづくりとしての取組についても触れておいてほしい。

(宮武委員)

- ・季節ごとに街路灯にバナーを設置できると、季節感を演出して通りに魅力が出るかもしれない。街路灯もLEDにすれば、季節ごとに色温度を変えたりできると思うのではないか。

<マネジメント>

(本田委員)

- ・空き地でのキッチンカーの誘致はすぐにでもやってみて良いのではないか。
- ・景観のルールが出来上がった後のマネジメントが大事だと思っており、せっかく良いルールができてもしっかりと管理できないと、良い街にならない。

(宮武委員)

- ・計画策定後の運用やマネジメントについては、町内会単位ではなく、駅前通りの2つの町内会で構成している「まちなみ管理協議会」を活用すると良い。

(辻井部会長)

- ・計画策定後の動かしの部分については、景観計画でも推進方策として整理していくことになるので、お話いただいた「まちなみ管理協議会」などの活用など、今後の部会での大切な協議事項になると思う。

○みどりの計画

(斎藤委員)

- ・スケジュールを見ると基準について議論するとあるが、どこをゴールにするかを絞っていた方が良かった。
- ・緑化率を何パーセントにするなど、どんな数字が良いのか議論が必要である。
- ・事業者からしたら苦しいが、町からしたらきちんとそれが適用されることによって非常に良い景観が造られていくことになるため、倶知安町ではどこら辺までを目指すのか、具体的なルールにしていくためには絞って考えた方が良い。

(辻井部会長)

- ・緑の基本計画の検討も同時に進めているので、その関係にもよるが、市街地全体に緑化率のルールをかけるやり方もあるが、数字で縛ってもなかなか計算するのも大変である。
- ・商店街を潤いのある場所にしたいのであれば、敷地の面積に対するものでなく歩行者から見える道路側で植栽を行っていくなどの見た目の緑をどう増やしていくかという視点でのルール・取組を整理していくと良いかもしれない。
- ・緑地協定として、所有者みんなで緑を確保する手法もある。

○策定状況の発信

(宮武委員)

- ・景観計画の検討内容を地域の人に小出しで発信してはどうか。計画ができて、いきなりルールで縛られるより、想定してもらった方が良い。
- ・開発側からすると、計画ができる前に急いで開発を進めてしまおうという考えになるかもしれないので、その危険性もある。

○まとめ・今後の流れ

(辻井部会長)

- ・今日の総括として、空き地の「にぎわいづくり」の要素としてフードトラック、外壁の色や間口のセットバックの設え方について追加の意見、四季を感じる取組、緑づくり、空き店舗の維持管理、周知方法・推進体制など、以上を織り込みながら今後整理を行う。
- ・今年度は4回のうち残り3回となっている。年内で整理をつけていきたい。

(星加係長)

- ・次回は景観計画上のルール作り、たたき台を頭出し、たたき台で示す項目の事例などを見てもらったうえで、倶知安町と合うものを検証する。
- ・明日（6月5日）シンポジウムがあり、町内で景観づくりに関する取組を行っている人の話を聞くため、いろんなキーワードが得られると考えている。計画のヒントにしていきたい。

5. その他

(本田委員)

- ・駅周辺整備委員会で東口のレイアウト検討中なのだが、駅前通りから真っ直ぐ入るレイアウトが検討時のものと変わっており、それで良いのかと思っている。駅前広場がどうあるべきかを話した方が良いと感じたため、6月中に臨時の委員会を開催することとなった。